

結 (ゆい) 第 24 号

発行 関西ねじ協同組合 広報委員会

〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-16 毎日東ビル TEL06-6974-0531 FAX06-6975-2181

E-mail info@kansaineji.com

URL <http://www.kansaineji.com>



創立10周年記念式典&新春互礼会
挨拶する箕村 理 理事長

関西ねじ協同組合は「創立10周年記念式典&新春互礼会」を1月17日、大阪市中央区「シティプラザ大阪」にて正会員・賛助会員・来賓から132団体、228名が出席し、盛大に開催した。第一部では落語家の桂米團治氏による記念講演会「国際人って何？」を、第二部では祝典が執り行われた。新年の門出を祝うとともに今年は記念すべき10周年を祝う式典であり、組合の更なる飛躍を目指すための一大行事となった。



年頭のご挨拶

関西ねじ協同組合

理事長 箕 村 理
(関 ダイ ロ ッ ク)

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆さまにおかれましては、穏やかな新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

さて、関西ねじ協同組合は、2013年1月17日に新春互礼会と共に創立10周年記念祝賀会を無事執り行うことができました。2002年10月に創立総会を行いスタートした関西ねじ協同組合は、丸10年を迎えることができました。この節目の年を迎えられることができましたのは、これまでの役員の方々をはじめ、組合員、賛助会員、管轄省庁の皆さまのご支援のおかげであり、厚く御礼申し上げます。祝賀会当日は、152社・等246名のご参加をいただきました。笑いの絶えない講演会、魅力的なフラメンコショーなど大変盛況な様子を見ることができ、万感の思いでいっぱいです。

ところで、昨年はパナソニックの2年連続巨額赤字決算やシャープの業績低迷による資本提携など、我々のお膝元である関西に拠点を置く企業の落ち込みが目立つ年でありました。自動車業界も反日感情の高まりによって中国の自動車販売が落ち込み、我々ねじ業界にも影響が及びました。また、昨年は中国、韓国では指導者が交代し、アメリカでは大統領選挙が行われた年でもありました。これらの諸国は日本経済と密接な関係にあるため、各国の経済政策や対日外交政策を注意深く観察する必要を感じております。我々日本においても、昨年末の衆議院選挙によって、自民党が政権交代を果たしました。早速、安倍ノミクスと呼ばれる円安誘導や大規模公共投資の経済政策が注目されています。停滞した日本経済をどのように立て直すのか？第二次安倍政権の経済政策に注視する年になるのではないのでしょうか。

このような状況の中、関西ねじ協同組合では平成24年度から新しい分科会が活動を開始しています。新設された分科会は、ボルト・ドリルねじ・小ねじタッピング・座金・特殊ファスナー・自動車部品です。この新しい分科会と既存のナット分科会を通して、同業種間の緊密な情報交換というメリットを組合所属企業の皆さまに感じて頂ければ幸いです。

2013年もこれまで同様、難しい経営環境の中での舵取りになることが十分予想されます。また、笹子トンネルの天井板崩落事故により、締結部品の重要性が改めて注目されています。日々の暮らし・命を支える、日本のモノづくりを支える重要な業界の活性化に業界団体の活動をとおして少しでも貢献できるよう取り組んで参ります。どうか皆さまの更なるご支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が我がねじ業界にとりまして良い年となるよう願っております。



スピーチ台に座って話す桂米團治

第一部



リニューアルHPを説明する
川端康弘 I T 委員長



来賓祝辞
近畿経済産業局 ものづくり産業支援室
細川洋一室長

第二部



来賓祝辞
(社)日本ねじ工業協会 竹中弘忠会長



黄綬褒章を受章した
土沢健一氏(ナツハラ社長)の挨拶



組合創立の経緯を話す
北井正次相談役



フラメンコショーが花添える



中江良一副理事長による
米朝一門五本締め

総務委員会

平成24年 合同新春互礼会のご報告

委員長 池田裕之
(池田金属 ㈱)

平成25年1月17日、関西ねじ協同組合の創立10周年記念式典&新春互礼会がシティプラザ大阪に於いて開催されました。

第一部の記念講演では、上方落語家の桂米團治さんを講師に招き「国際人って何？」と題した講演会が行われ、あっ！！という間に1時間！

続いてIT活用委員会から周年事業の一環として取組まれた組合ウェブサイトのリニューアルについて説明が行われました。

第二部の新春互礼会、司会は北井啓之副理事長が進行を務め、箕村理事長が多数の出席ならびに平素の組合運営協力に対し感謝の意と創立10周年を迎えた喜びを表すと共に、新分科会活動へ参加の依頼など年頭の挨拶を行った。

この後、各方面から臨席のご来賓が紹介され、代表諸氏から以下の祝辞が贈られた。

近畿経済産業局 製造部ものづくり産業支援室 細川洋一室長

「補正予算における中小企業向けの試作開発に伴う設備投資への助成事業に関する説明、景気回復は関西から始まると信じて。」

社団法人日本ねじ工業協会 竹中弘忠会長

「東南アジア諸国の経済成長を見ると日本もグローバル市場において一層努力する必要があり、国際競争の重要性が肝要。」

続いて慶事の御祝いで、昨年秋の国家栄典において黄綬褒章を受章した株式会社ナツハラ代表取締役土沢健一氏より御礼の言葉と共に喜びの謝辞が述べられました。

その後、当組合相談役である北井正次氏より10周年の節目を迎えて、過去に在阪5団体をまとめ、組合の礎をなした諸先輩方の尽力に感謝し、当時の統廃合に関わる談話のあと、同じく同氏により乾杯の音頭と共に祝宴へうつった。

盛大な祝宴の中、参加者それぞれが情報交換や新年の挨拶を交わす和やかな時間となりました。歓談中にはフラメンコショーも行われました。

そして宴たけなわのなか、中江良一副理事長から参加者への御礼と中締め挨拶があり、無事滞りなく閉会とあいなりました。

平成25年新春互礼会参加者は以下の通りです。

正会員72社124名、賛助会員45社78名、来賓その他10団体17名、報道など9名、以上228名皆様方のご協力に深く感謝致します。

I T 活用委員会

使って頂けるホームページにリニューアル

委員長 川 端 康 弘
(株オー・ピー・ジ)

I T 委員会は、今季IT活用研究会から I T 委員会に昇格され、関西ねじ協同組合10周年の記念事業として、特に各会員企業様にて「もっと組合員(社員皆様)で、使って頂けるホームページ」をコンセプトとし、各企業様よりの最強の I T イレブン(委員11名)を招集し、様々な検討の末、まずは第一段のフォームとしてのリニューアルを完了いたしました。

本ページには組合としての様々な機能を有しており、運用段階となれば関西ねじ協同組合コミュニティの活動情報源としてはもとより、会員企業様個々のセールスツールとしてもご活用頂けるものと思います。

既に10周年記念事業+新年互礼会以降、過半数の企業様より一挙に登録用の I D とパスワード登録申請を頂戴しておりますが、今一度登録発行申請の程よろしくお願い申し上げます。

(申請頂きました皆様には、近日 企業ログイン用 I D とパスワードを発行の上で、個別企業ページの作成や新商品・新情報のニュースリリースなどの入力作成ページの講習会を実施いたしますので、改めてご参加の程よろしくお願いたします。)

次年度につきましては、この事業の運用段階へ移行し、更に「使って頂ける」活動を継続していくこととなります。

現状におきましては、様々なプログラムを有しているものの、これらを起動させる(情報を入力する)作業が今後のテーマとなっており、これらを「使って頂ける段階」までが当委員会での当面の課題となります。

- ① 結のデジタル閲覧
- ② 研究開発委員会の成果閲覧
- ③ 各企業様での紹介ページ修正
- ④ 各企業様でのニュースリリース
- ⑤ 関西ねじ産業の生産量集計
- ⑥ 組合事業活動への参加申し込み
- ⑦ 組合事業活動の報告閲覧



上記は、既に仕上がっている機能ですが、これらを外部団体に連携する R S S 機能や、コミュニケーションを運用する facebook などの導入も視野にいれ、ルール作りを進めて行きたいと思っております。

研究開発委員会

「研究開発テーマ検討グループ」を立ち上げます

委員長 **大 場 康 弘**
(株 コ ク ブ)

先回の結でご案内いたしましたとおり、研究開発委員会は、関西ねじ協同組合発足以来、取り組んできました研究テーマ「ねじの腐食寿命予測と試験方法の検討」を終了致します。

それに伴い、新しい研究テーマを検討する「研究開発テーマ検討グループ」を新たに立ち上げます。新グループ立ち上げに際して皆さまにアンケートを行いましたので、下記に結果をご報告致します。

(回答企業数：44社)

- ① F C K法の利用により一定の成果を得られた企業は27社あったものの、引き続き腐食試験を続行することを希望する企業は3社しかなかったため、別テーマを模索することになりました。
- ② 新テーマについては、今回のアンケート結果と理事会や研究開発委員会からのテーマ提示のご要望があったため、いくつかの候補を中心に、検討を重ねて参ります。
- ③ また、研究開発活動の成果報告については、「従来通りに」とのご要望が主でした。

新テーマの検討は、当委員会の副委員長 豊田裕司氏（株式会社巴製作所 代表取締役）が中心となって進めていきます。グループメンバーの募集も終了し、3月12日に第一回目の会合をもって本格稼働いたします。新グループでは、引き続き「取り組んで欲しい研究テーマ」や「研究開発委員会として取り組んで欲しい活動」についてご意見を募集しています。全てのご要望にお答えできるわけではありませんが、皆さまの忌憚なきご意見をいただければ助けになります。

では、新しくスタートする「研究開発テーマ検討グループ」には是非ご期待ください！

人材開発委員会

工場見学会など各種行事を実施

委員長 由良 宜彦
(嘉 亀 鋼 業 株 式 有 限 公 司)

会員の皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は人材開発委員会の活動に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当委員会では昨年の12月12日に恒例となりました工場見学会を実施しました。

見学先は大東市にある昭和電気株式会社です。

同社は、納期短縮や生産性の向上を「B e e ダッシュプロジェクト」と銘打って全社を上げて取組んでおられ、着実に業績を上げている企業さまです。

我々ねじ業界の経営者、管理職の方々もこの生産性の向上や納期短縮には常に頭を悩ませる課題の一つだと感じております。

見学会の募集開始時には定員の30名に対し即時満員となり、皆さんが大変興味をもっておられたのだと改めて感じました。

この見学会を通し参加各社が自社に反映できる何らかのアイデア、ヒントなど持ち帰る事ができればと関係者一同希望しております。

(工場見学会の風景を写真でご覧下さい)

そして、平成25年2月、当委員会は二世会であるK-2と合同で講演会を実施致します。講師は「大阪名物くいだおれ」の女将として有名な柿木道子さんで、おもてなしの心を通じて商売に反映する事を勉強して頂きます。

また年度末を迎える3月には、若手従業員向けのワークショップを昨年同様に開催致します。

当委員会では、従業員向け、管理職向け、経営者向けと人材の育成支援や各職階が抱える課題に対し、それらが解決に向かうよう事業の企画、展開を進めております。

本年度、私が委員長を拝命し、新米ホヤホヤの未熟者ではありますが、会員企業の皆さまや、特に事業にご参加頂いた方々からご意見や感想をお聞きし、次年度からの事業への反映できるよう務めたいと思います。

事業についてのご要望やリクエストなどもどしどしお聞かせ頂ければ幸いに存じます。

今後ともご支援のほど宜しくお願い致します。



工場内を見学



説明を受ける参加者

海外情報委員会

タイ国視察ツアーで見聞広げる

委員長 柳原考至
(ロックファスナー㈱)

平素より組合員ならびに賛助会会員の皆様には当委員会活動に格別のご高配を賜り、御礼申し上げます。

今年度の海外情報委員会行事として、タイにおける日系企業の視察を総勢18名にて行わせていただきました。

2/5の深夜便にて関空を出発し、2/5の早朝より視察先であるサミット中国精螺株式会社様とOSGタイ工場様を、見学いたしました。

翌日にはシチズンマシナリーミヤノアジア様及びオカモトタイ工場様を視察させていただきました。

どの訪問先でも先の洪水の影響は残っておらず、日系企業の投資が集中している為、訪問先の各企業様は人員の確保と教育に大変腐心されているように感じられました。

また滞在中は天候にも恵まれ、日本国内の寒さが嘘のような暑さでした。

翌日の観光組とゴルフ組はそれぞれ王宮、エメラルド寺院、暁の寺、ワットポー及びウインマーメーク宮殿を見学し、ゴルフ組はナバタニにてプレイを楽しませていただきました。

最終日には観光組は自由行動とし、ゴルフ組は2012年にオープンしたロイヤルジェームスという、オーガスタとセントアンドリュースを足して2で割ったような素晴らしいコースで、プレイを行わせていただきました。

その後、同日の深夜便にて翌朝の6:30に無事関空へ帰国いたしました。

今回参加者の全員が事故、けが、病気等が無く無事帰国出来た事は参加者皆様の御協力と貴重なアドバイスによるものと思っております。皆様御協力ありがとうございました。現時点では全て未定ですが、次年度の視察先についても、ご意見等頂ければ幸いです。



サミット中国精螺での一行



シチズンマシナリー前にて

会員開発プロジェクト

新規加入企業のご推薦をお願い致します

プロジェクト長 池田 栄 治
(大洋ナット工業㈱)

会員開発プロジェクトを仰せつかっている池田栄治です。今年に入り第二次安倍政権の為替政策によって極端な円高傾向が是正されつつあります。安倍政権の経済方針は、自動車を含めた輸出産業にとって明るい兆しと言えるのではないのでしょうか。今後の経済政策にも期待したいところです。

さて、会員開発プロジェクトでは、新規組合員の加入促進に取り組んでいます。しかし、下記にご紹介する企業様以降、目立った加入企業がなく、残念ながら停滞傾向気味です。今年度からは、ボルト・ドリルねじ・小ねじタッピング・座金・特殊ファスナー・自動車部品の新しい分科会が活動をスタートさせました。これら同業種を基本とした分科会では、タイムリーな経営課題に関する活発な情報交換が行われています。

最後になりますが、同業種の中で未加入の企業様がおられましたら、今一度、組合加入のお誘いをよろしくお願い致します。



事務局からのお知らせ(*^_^*)♪

会員の皆さま、事務局の山内(おっかないほう)と下園(温厚なほう)で御座います。m(_)_m 平素は大変お世話になります。

ただ今組合では、新規会員様の加入促進、各種委員会と分科会活動へご参加頂ける委員の方を大々募集しております (*^_^*)♪

組合の活動や各委員会の情報はリニューアルされたホームページからご覧頂くことができますので、ご興味がある方はどうか！事務局へお問合わせ下さい。(。')/^^

また、委員会や分科会へ加入したいが知り合いがない・・・など事務局が丁寧に橋渡しも致しますので、是非この機会に業界friendを増やしてみてもは如何でしょうか? (*^_^*)??

会員交流委員会

第19回 親睦ゴルフコンペを開催

委員長 今井敏雄
(榎丸菱ナット製作所)

平成24年11月24日に第19回親睦ゴルフコンペを開催致しました。

今回は若手理事からの要望で土曜日開催としましたところ、初参加者5名を含む29名の参加を得ることができました。

成績につきましては、山川氏(榎山川鋳螺製作所)と浜中氏(丸共ナット(株))の両実力者が共にグロス79の好スコアをマークされ、ダブルペリアのハンデ1.2の僅差で山川氏が見事優勝されました。また小林氏(サカイ工機(株))がミドルホール第2打を直接カップインさせるイーグルを達成、急遽イーグル賞を設けるなど和やかうちに無事コンペを終えることができました、皆様ご協力有難うございました。

また、囲碁クラブの活動と致しましては、会食をかねた囲碁の勉強会を月一回開催し、年二回の泊り込み合宿?を行なっております。

なお、現在8名にて活動しておりますが、指導者が2011年度の第97回全日本女子学生本因坊決定戦に優勝された、立命館大学の堀本範子さんに替わってからは、活動が以前にも増して活発となっており、この機会に是非皆様のご参加をお待ちしております。



ゴルフ参加者一同

太陽精工株式会社



山下貴嗣社長(左)
坂田正伸 営業部生産管理担当(右)



本社工場社屋

株式会社 ニチワ



橋本佳隆社長



本社工場

福利厚生委員会

(伊賀・信楽) 松茸・近江牛食べ放題

委員長 夏原和哉
(隼 ナ ッ ハ ラ)

組合員・賛助会員企業の従業員、そのご家族の方々を対象にした日帰りグルメツアーを平成24年12月2日(日)に実施致しました。

今回は、伊賀・信楽の魚松本店で「松茸・近江牛食べ放題」と銘打ち、松茸入りのすき焼を参加者27社、130名の皆様に召し上がって頂きました。

(お申込みは170名を超え、残念ながら約40名の皆様にはご参加を辞退して頂くこととなりました。この紙面からですが、深くお詫び申し上げます。)

当日は晴天に恵まれ、午前8時に全員元気よく、近鉄上本町駅から、バス3台で出発致しました。10時半頃に伊賀流忍者博物館に到着。到着後すぐに博物館のとなりにある古文書堂の前で集合写真を撮りました。その後、3班に分かれて、忍者博物館を見学して頂きました。まさか「忍者」を目指しておられる方はたぶんおられなかったと思いますが、忍者屋敷の「からくり」や忍者の武器などを見学でき、楽しんで頂いたと思います。

(私はどちらかというと、その後の食べ放題のための腹ごなしでしたが・・・)

12時過ぎにお目当ての「魚松」さんに到着。目の前にはすき焼きの鉄板鍋があり、心ワクワク!! 箕村理事長のご挨拶のあと、食事開始。「近江牛」を山盛りお鍋に入れられ、その上からこれまた「これでもか」というぐらいの「マツタケ」を盛られたすき焼きのスタートです。「近江牛」「マツタケ」が鍋の中で寂しくなったら、追加し放題。すき焼きとは別に「食べ放題の松茸ご飯」、「松茸の土瓶蒸し」、「デザート」とありましたが、そこまで完食できた人はごくまれではなかったかと思えます。本当に、魚松さんが宣伝されていた「一生分のマツタケ」を堪能でき、参加者の方々もたいへん満足頂けたものと思えます。食事が終わり、バスに参加者の皆さんが乗り込むと、バスガイドさんが「バス内に松茸の匂いが充満しています」と言われたぐらいです。

お腹も一杯になって魚松さんをあとにし、お土産屋さん「鮎家の郷」へ。参加者の皆さんがその日の記念として、お土産をたくさん買っておられました。帰路中、その車内でもビンゴゲームでお土産をゲットして頂きました。

18時30分前に無事上本町駅前に到着し、楽しい「グルメツアー」を終えることができました。

最後になりましたが、これからもたくさんの組合員様に喜んで頂ける「グルメ旅行」を企画していきますのでご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。



松茸食べ放題の様子



参加者たち(俳聖殿前にて)

ねじづくりサポート会 (旧 賛助会員分科会)

平成24年度 活動報告

会 長 坂 元 正 樹
(サカモト工業 ㈱)

平素より組合員ならびに賛助会員の皆様には当分科会活動に多くのご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。ねじづくりサポート会の活動報告をさせていただきます。

平成24年12月5日(水)に「情報交換&親睦パーティ」をリーガロイヤルホテル中之島で行いました。当日の出席者は175名86社(組合員49社95名 ねじづくりサポート会57名25社 賛助会員21名12社)となり、毎年恒例になりますこのパーティですが「賛助会員分科会」から「ねじづくりサポート会」への名称変更をしてから初めてのパーティであったため皆様に解っていただけるか心配でしたが盛大なパーティとなりました。これも組合員企業様、賛助会員企業様のご協力の賜物と感じ感謝致しております。参加対象者が現場で活躍しておられる開発・製造・営業などの方々ということもあり日頃お付き合いで持つことのないフランクな場を活用して頂き、活気のある情報交換パーティでありました。これからも年末の定番行事として行っていきますのでたくさんのご参加をお待ちしております。

パーティでもお話をさせて頂いたのですが、賛助会員の有志が集まり組合員様に対しサポートしていく「賛助会員分科会」として活動してきたのですが、本年度より組合員企業の「ねじづくりを積極的にサポートしていく会」という考えで『ねじづくりサポート会』と名称変更を行いました。会の主旨である「より積極的にねじづくりをサポートしていく」という目的に沿った新しい挑戦も試みていく予定ですのでこれからもねじづくりサポート会を宜しく願います。また、当会に入会されていない賛助会員企業の皆様でご興味があればご相談ください。

最後になりますが、ねじづくりサポート会の事業をとおり、組合員企業様のご発展に少しでもお役に立てるよう会員一同頑張っておりますので、今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しく願います。

K-2 (関西ねじ協同組合2世会)

事業報告

代表幹事 佐伯 祐二
(日本 鋌 螺 株)

平素は我々のK-2会活動に対して関西ねじ協同組合の皆様から多大なご支援とご理解をいただき誠にありがとうございます。活動について下記にご報告させていただきます。

<第3回例会 — 勉強会 H24.9.11>

マイドーム大阪にて、講師にトーマツイノベーション(株)前田寛之氏をお迎えして、演題は「勝ち残る会社になるための最強集団のつくりかた」でした。参加者は25名で、経営者として会社をまとめる重要性を学びました。

<第4回例会 — 2会合同研修会 H24.11.02~03>

今年はK-2の主催で琵琶湖グランドホテルにて行われ、K-2 24人、OS会21人の参加があり、懇親会では情報交換及び、親睦、交流を深めることができました。翌3日は比良ゴルフ倶楽部にてコンペを行い、優勝は稲上大三氏(マスター工業(株))、準優勝は平尾彰氏(株平尾商店)でした。

<第5回例会 — 忘年会 H24.11.30>

天王寺にあるイタリアンレストラン「モノクローム」で行いました。参加者は40名で、余興にダンスショーを行い、会員も飛び入り参加するなどあり、楽しい時間を過ごせた事と思います。

<第6回例会 — 勉強会(予定)>

2月15日(金)に関西ねじ協同組合様と共同でシティプラザにて勉強会を行います。講師は株式会社くいだおれ 代表取締役会長 柿木道子氏をお迎えし、演題は「原点から学ぶ!おもてなしの心」です。講演後には懇親会も企画しておりますのでご多忙とは存じますが、皆様ご参加の程宜しくお願い致します。

<第7回例会 — 総会(予定)>

4月上旬の総会にて次期幹事と交代になります。K-2では現在40歳代の会員が多く、このまま新規会員がないと5年後には会員数が約半分になってしまいます。ご親族、お知り合いの方で入会ご希望の方がおられましたら是非お声をかけ頂く様、ご協力の程宜しくお願い致します。



勉強会

組 合 員 企 業 紹 介

太 陽 精 工 株 式 会 社

太陽精工株式会社は京都南区吉祥院蒔絵町と言う、いかにも京都らしい美しい地名の地で特殊ネジを生産されておられます。

創業された昭和34年は、戦後復興期を迎えた産業界ではスリワリ小ネジから十字穴付き小ネジへの普及転換期でもあったそうです。その当時から金型工具類は全て内製しておったそうです。材料は黄銅が中心で、段階的に鉄、ステンへと発展し、生產品目も小ネジ、タッピングネジ、(福井工場)と拡充していかれました。

その後、昭和40年代には高度経済成長に応じて機械の高度化、品質向上、量産化の時代を迎え。昭和45年に現在地へと移転されました。多品種少量の時代要請の中、多段ヘッダーを中心に特殊ネジ、特殊冷間圧造部品、プレス、切削、穴あけ、センターレスなどを組合せた複合加工品へと品種転換を行ってこられました。

生產品はユーザからの図面部品が99%、後の1%は規格品全般を製造されています。

常時流動製品が約200アイテム、図面登録数1500アイテム、サイズはM2からM10、最長80mmを得意とされています。

納入先の売上比率はユーザー向け(自動車・自転車・家電等)50%、直需系商社向け50%で売上は年商13億円で最近は安定しているとのこと。

材料は神戸製鋼所系列で材料別割合は鉄系70%、ステンレス20%、その他アルミ、銅、真鍮、チタン合金など10%と殆どの材質を合わせて月35トン生産されています。

設備は、4D4B(2台)、2D3B(13台)、2D2B(2台)、ダブルヘッダー(6台)、平ダイス式ローリング機、水平式ローリング機、切削二次加工機(NC旋盤、自動盤)、画像選別機、投影機、硬度計、引張り試験器、トルク等の各種試験器などがありました。

太陽精工さんはいち早く中国へと進出されています。1995年に中国(上海)に日中合弁会社を設立されました。2001年10月には独資になり、資金だけではなく、日本から高性能多段ヘッダー設備を導入した上で上海工場従業員の技術指導に力を入れていかれ、今では日本サイドに利益を供与できるようになったそうです。

多種多様な材料に応じた加工技術をもとに独自の工程設計を確立され、多工程におよぶ複雑形状部品(10工程にもおよぶ)をも生産されているそうです。

それらは「只単に隙間商品を取りにいったからでしょ」と言う表現をされていましたが、そうではなく、お客様が必要とする物をいかに精度良く製品が作れるかという努力をされてきた結果だと思えます。

最後に山下社長は各拠点における5S活動やQC改善活動によって、お互いの良い事例を共有しあいながら、高付加価値の製品の加工ができるようになりたいと言われていました。

何事に対しても前向きな山下社長なら、着実に実現されると確信しております。

「これからは同業者であっても無駄な競争をするのではなく、お互いに協力しあえる関係を作っていきましょう」と約束をして同社をあとにしました。

今回はお忙しいところ、取材に協力していただき、誠に有り難うございました。

(樫本宏志、記)

株式会社 ニチワ

吐息も白くなる初冬の早朝、伊丹空港を飛び立った全日空機は約1時間で南国宮崎空港に着陸、そこから車で小1時間、山と海に挟まれた道路を走ると突然広い平地と立派な工場棟が現れます。そうです今回の取材先「株式会社ニチワ」の本社工場です。ここに橋本佳隆社長をお訪ねしました。

社長歴10年とベテランの橋本社長ですが、1967年生まれと若いイケメンの青年実業家です。1962年、橋本社長のお父様、橋本章繁様が大阪府東大阪市で橋本鉄工所を創業されました。その後会社の発展と共に「株式会社日和製作所」と改組改名されています。

1973年には当地、宮崎県日南市に誘致企業第1号として進出され、「株式会社ニチワ」を設立、1975年より操業開始されています。その後順調に発展を続け、1999年にISO9001を、2003年にはISO14001を認証取得されています。逸早く中国にも進出され2005年には中国広東省に佛山日和汽車零件有限公司を設立され中国でも工場経営をされています。

また2006年には経済産業省から「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に選定されています。前後しますが2001年には「株式会社日和製作所」を「株式会社ニチワ」に統合されています。そして現在は約3万平米の敷地に工場棟がゆったり配置され、伸線から最終製品まで一貫生産をされています。工場の中は明るく清潔で整理整頓が行届き、若い従業員の方も多く、キビキビと作業されています。

製造サイズはM5～M14、ナットホーマーは50数台で月間900トン、約300種類の鋼製ナット及び自動車パーツを製造、また使用する金型も社内で製作されています。その販売先は主力のトヨタ、ホンダ各グループを中核に、その他国内自動車グループ全てと取引されています。

また労働安全にも注力されており、2011年無災害記録120万時間を樹立し、宮崎県労働局より「無災害記録賞第二種」を授与されています。この無災害記録は記録を更新中で、現在は170万時間達成中とのこと。

このように高品質、低コスト、短納期だけでなく労働安全無災害までも達成された橋本社長は、2008年には隣接地33000平米を購入、将来の発展の礎を打っておられます。

将来の夢は「お客様のニーズにグローバルに応えられるよう世界中に工場を建設すること」と即答されました。若い社員の教育にも注力されており、これからの益々の発展をされるものと確信致します。

本日はお忙しい中、取材にご協力をいただきありがとうございました。

最後になりましたが、会社のすぐ近くにある明治10年創業の造り酒屋「櫻乃峰酒造(有)」を弟さんが経営されています。焼酎が好きな方はぜひご賞味ください。

(辻田 稔、記)

行事経過及び予定一覧表

月	日 付	内 容	主 催
8	8 日	理事会	総務委員会
	21 日	IT活用委員会会合	IT活用委員会
9	4 日	人材開発委員会会合	人材開発委員会
	25 日	ねじづくりサポート会 幹事会	ねじづくりサポート会
	26 日	海外情報委員会会合	海外情報委員会
10	9 日	人材開発委員会会合	人材開発委員会
	15 日	海外情報委員会会合	海外情報委員会
	17 日	理事会	総務委員会
	19 日	研究開発委員会会合	研究開発委員会
	22 日	ナット分科会会合	ナット分科会
11	13 日	研究開発委員会 幹事会	研究開発委員会
	24 日	親睦ゴルフコンペ	会員交流委員会
	26 日	IT活用委員会会合	IT活用委員会
	28 日	理事会	総務委員会
12	2 日	日帰りグルメツアー	福利厚生員会
	4 日	特殊ファスナー分科会会合	特殊ファスナー分科会
	5 日	情報交換&親睦パーティ	ねじづくりサポート会
	11 日	小ねじタッピング分科会会合	小ねじタッピング分科会
	12 日	昭和電気株式会社 工場見学会	人材開発委員会
平成25年 1	17 日	新年互礼会・10周年記念式典	総務委員会
	28 日	IT活用委員会	IT活用委員会
2	13 日	理事会	総務委員会
	15 日	柿木道子氏講演会・懇親会	人材開発委員会・K-2
3	5 日	ワークショップ研修会	人材開発委員会
	5 日	田中熱工株式会社 工場見学会	ねじづくりサポート会
	12 日	研究開発委員会会合	研 究 開 発
	25 日	IT活用委員会会合	IT活用委員会
	28 日	親睦ゴルフコンペ	会員交流委員会
4	18 日	ナット分科会会合	ナット分科会
	24 日	理事会	総務委員会
5	29 日	通常総会	総務委員会

事務局より

社名変更

住金精鋼株式会社

平成24年10月、「日鉄住金精鋼株式会社」に社名変更されました。

2012年度 大阪ものづくり優良企業賞

当組合員・賛助会員企業からも以下の5社が受賞されました。

株式会社 三和鋳螺製作所 (東大阪市)

株式会社 松徳工業所 (柏原市)

太陽電鍍工業株式会社 (東大阪市)

田中熱工株式会社 (守口市)

株式会社 平和化研 (八尾市)



広報委員会

無資源小国から資源大国日本へ

広報委員長 **樫本宏志**
(株三和鋳螺製作所)

日本には資源が無いと言われ続けてきました。開発してもコストがかかり過ぎるから、開発する技術がないからと言われてたからです。それは、日本国内に日本の利益になるはずの資源開発を邪魔するような既得権益集団によって邪魔されていたからです。

日本には未開発の資源が数多くあるのです。

中国が狙う尖閣諸島の下には世界2位の埋蔵量をもつ石油があるのです。日本の排他的経済水域は海水の体積で世界4位、面積は447万平方キロ、その資源は7000兆円あるといわれています。

日本近海には天然ガス100年分のメタンハイドレートの鉱床を見つけています。神戸を中心に日本海側の地方自治体が連携して調査に乗り出し、国が動かないのなら地方自治体から行動しようとしています。

南鳥島周辺でレアアースを大量に含む泥の大鉱床が発見された。埋蔵量は約680万トンと推定され、日本のレアアース消費量の約230年分と途方も無い数字が報じられた。

かつては炭坑の街だった夕張、終わったはずの炭坑に資源が眠っています。炭層メタンは石炭から発生するメタンガスです。北海道だけでも140億トン以上の石炭があると言われています。

それ以外にも良質の水、火山の地熱等。

これらの資源を1日でも早く活用出来るようにするには、国民全員の地下資源にたいする関心が必要ではないでしょうか。